

HP掲載用に訂正を加えてあります。



# 森の再生、言葉の再生 ～APIタイ調査で学んだこと

第8回API国内ワークショップ

2013年3月3日 於ハートンホテル京都 嵐山会議室

土井利幸 [toshi-doi@mtd.biglobe.ne.jp](mailto:toshi-doi@mtd.biglobe.ne.jp)

メコン・ウォッチ／

マヒドン大学サラヤ校アジア言語文化研究所



**この発表のもととなった調査は、日本財団Asian Public Intellectuals (API) プログラム (2011-2012年) の助成を受けています。発表者の見解は、APIプログラム、日本財団、Coordinating Institution、Partner Institutionを代表するものではありません。**



私たちの先輩であり、友人であるソムバット氏が、2012年の暮にラオスで誘拐され、安否は依然不明のままです。発表の機会をいただいた時には、できるだけ多くの人に、この件を伝えようとしています。

# ソムバット氏誘拐事件（1）

- 2012年10月 ラオスで  
亜欧民衆フォーラム
- 12月7日 NGO代表に国  
外退去命令
- 12月15日 事件発生
- 12月18日 米・国務省  
が懸念を表明
- 12月19日 ラオス政府  
が声明を発表





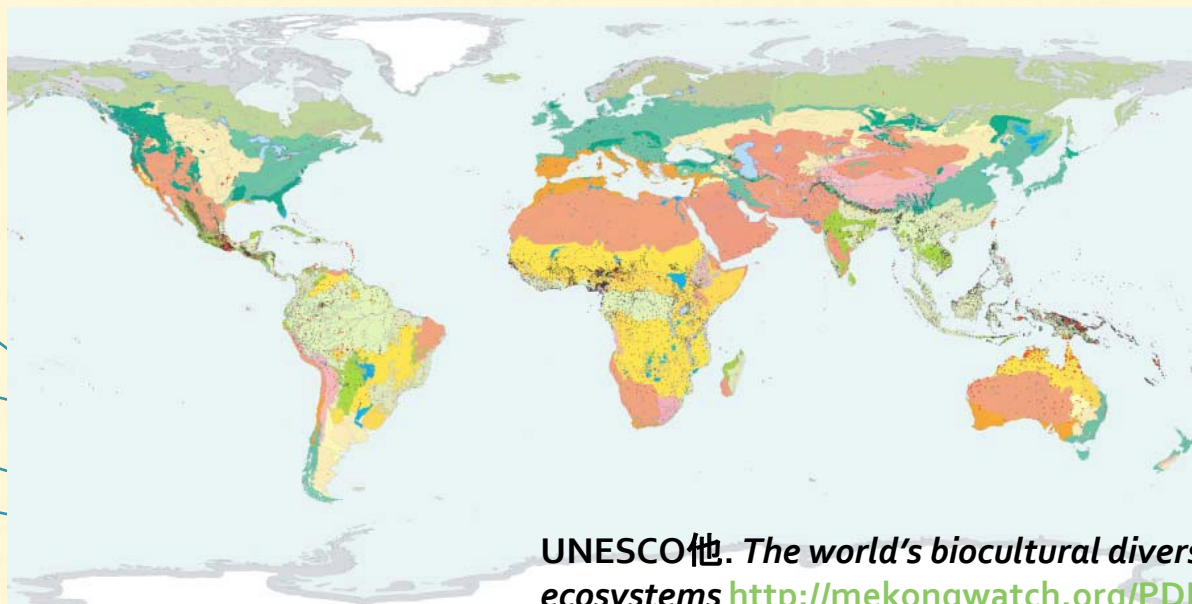
# ソムバット氏誘拐事件（2）

- 12月20日 APIがラオス政府に要請書簡
- 2013年1月11日 ラオス政府が会見
- 1月13日～15日 ASEAN議員団が現地訪問
- 2月3日 ラオス公安省が調査結果を公表
- 2月7日 EU議会がラオス政府に調査を要請
- 2月19日 オーストラリア外相がラオス副首相、外相に懸念を表明
- 3月1日 ラオス公安省が会見

# メコン圏の豊かさ：言葉の多様性

地域	話者数	言語数	話者1万未満	割合
東南アジア	539,270,956	1,461	779	53.3%
世界	5,959,511,717	6,909	3,524	51.0%
東南アジア ／世界	9.0%	21.1%	2.1%	

(Ethnologue第16版<http://archive.ethnologue.com/16/web.asp>を基に作成)



- ・東南アジアでは、世界の9.0%の人びとが、21.1%の言葉話す
- ・その言語多様性は、話者数1万人未満の小言語が支えている
- ・言語/文化、生物の多様性は、赤道付近に収集している

UNESCO他. *The world's biocultural diversity: People, languages, and ecosystems* [http://mekongwatch.org/PDF/CBdiversity\\_map.pdf](http://mekongwatch.org/PDF/CBdiversity_map.pdf)



# 言葉の多様性を脅かす要因

- 教育、マスメディア、大衆文化による主要言語（国語や国際語）の広まり
- 戦乱、災害、疫病、大規模開発による先住／少数民族の弱体化
  - Moken：ビルマ、タイ南部に住むAustronesia語話者、2004年の津波による被害で困窮化（Skehan 2012）
  - Ugong：タイ西部に住むSino-Tibetan語話者、ダム建設による立退きで弱体化（Bradley 1989）
- 言葉の再生運動のはじまり
  - Biocultural diversity conservation: A global sourcebook（Maffi et al. 2010）などを参照

# 失われるもの

- 先住／少数言語で表現されている地域の知恵
  - Great Andamanese話者：2004年の津波の時に、伝統的な知識として伝わっていた倒れない木に登って、49名が助かった  
(Romaine 2007)
- 言語にかかわる権利
  - 人にはみな、自分の母語に対して肯定的な価値感を抱く権利がある (Phillipson et al. 1995)





# 調査課題・関心

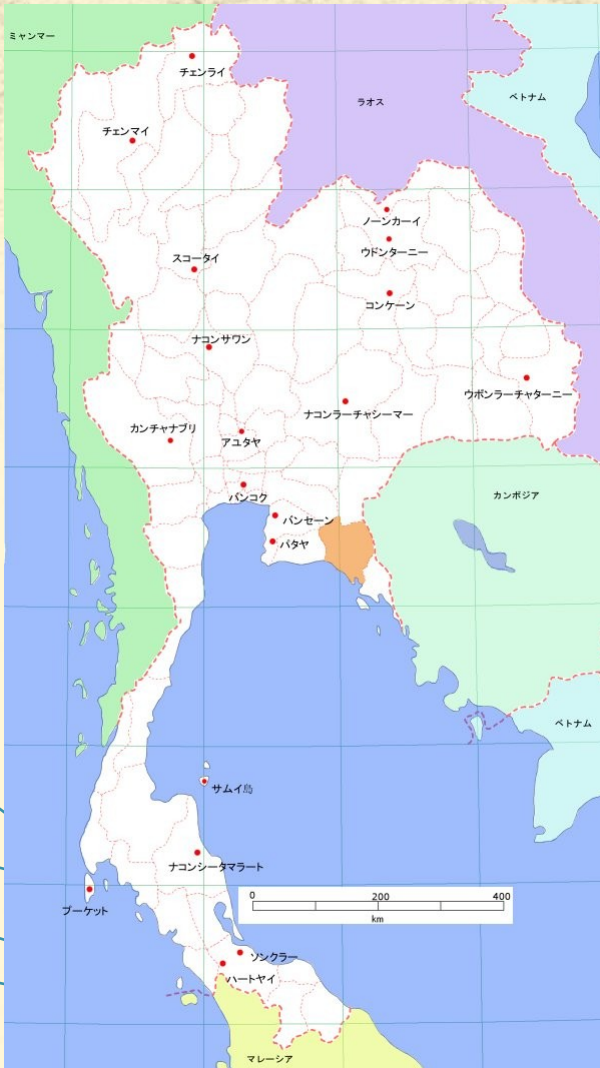
- 人為的に言葉を再生できるのか？
- 学校／教育現場が言葉の再生に貢献できるのか？
- 私自身が言葉の再生にどのように貢献できるのか？





# チョン族

- タイ東部チャンタブリ県
- 人口約4,000人（全土）
- 森の民



共有林を案内するチョン族の長老





多数のチョン族が生活するチャンタブリ県クロンプルー村周辺の様子



ランブータンの収穫。果樹園を営むチョン族が多い





# チョン語

## ● モン・クメール語族

チョン語	ジェウ	ホプ	プロン	モン	サー
クメール語	トゥ	ニヤム	バーイ	ジァムオイ	クニア
タイ語	パイ	ギン	カーオ	ドゥアイ	ガイ
	行く	食べる	ごはん	～と	いっしょに

- チョン語、クメール語（モン・クメール語族）とタイ語（タイ・カダイ語族）は別系統の言語とされるが、構造は似ている
- 流暢な話者約200名
- 衰退の主な原因：タイ語化教育





# チョン語の再生


- 表記法の開発
- 小学生へのチョン語教育




タキアントーン小学校のチョン語授業の様子

**ตัวนั่งชื่อพะชาว่อง**  
พยัญชนะภาษาชอง

ตัวต้น

ก กูป 	ค ค้อน 	ง งัว 	จ เจ็ด 	ช ชอ 	ซ ซี 	ญ ญาม 	ค คุง 
ค คุง 	ท ท้าม 	น น่อง 	บ บุง 	ป ปาว 	พ พอน 	ฟ ฟุง (จีน) 	ม ม่า 
ย ยาง 	ร รื่อง 	ต แตก 	อ อูด 	ว วา 	ฮ ฮาย 		

ตัวสะก๊อด

-ก ก๊อก 	-ง ป่าง 	-จ กะบุง 	-ญ ญ็ญ 	-ค มาค 	-น กั้น 	-บ กริบ 	-ม มะง่าม 
-ย ย็ย 	-ว เพล่ว 	-ฮ กะเท๊ฮ 					

ผลิตโดย สถาบันวิจัยและพัฒนาพื้นที่สูง (องค์การมหาชน) และศูนย์วิจัยและพัฒนาการเกษตรชองภาคเหนือ  
 สนับสนุนโดย สถาบันวิจัยและพัฒนาพื้นที่สูง (องค์การมหาชน) และศูนย์วิจัยและพัฒนาการเกษตรชองภาคเหนือ  
 สถาบันวิจัยและพัฒนาพื้นที่สูง (องค์การมหาชน) 251 หมู่ 7 ถนนเชียงใหม่-ฮาดสัน  
 เชียงใหม่ 501 000 โทร. 053 251 100

タイ文字を活用して作ったチョン語表記法

# チョン族の活動の成果

- 自信／アイデンティティの回復
- 記録と「延命」
- 他の少数民族への波及

- ニヤクル語話者  
(東北部チャヤプーン県)
- 北クメール語話者  
(東北部スリン県)
- ガソン語話者  
(東部トラート県)
- パッタニーマレー語話者  
(南部パッタニー県など)



チョン族の村を訪れたタイ南部のマレー系の人びと。  
タイ南部固有のマレー語を母語とする



# 課題と今後

- 学校外でのチョン語の使用の広まりを示す証拠がない
- 再生に関わる人びとが減っている
- 授業の成果をデータで示す必要がある
- HPを立ち上げて学習機会を拡大する



# おわりに

- C. V. Wedgwood: “An educated [man] should know everything about something and something about everything”

「教養人とは、なにかについてすべてを知り、すべてについてなにかを知っている」という言葉があるが、Public Intellectualsとしては、

「さらに、だれとでもなにかを語る事ができる人 (and discuss something with everyone.)」を目指したいと考えている





ご清聴、ありがとうございました

